

保証について

1. 保証について

この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2. 保証書について

保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3. 補修用性能部品の保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

・ランプが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・スイッチは正常に切替りますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・可動部は異常なく動作しますか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。

※不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または、当社「CSセンター」までお申し出ください。

(2)清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1〜2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・藤 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置

ランプ寿命(切れ)以外の異常は、工事店(購入先)にご相談ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

6

商品についてのご相談

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル)へご連絡ください。
受付時間(月〜土曜)9：00〜17：00 日曜・祝祭日は受付していません。

DAIKO
大光電機株式会社

取扱説明書

保存用

品 番	DCL-35735L・35735N
-----	-------------------

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

工事店様へ

●施工前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

！
厳守

この器具は天井取付専用器具です。指定場所以外には取付けしないでください。火災・落下の原因となります。

突出部のある天井
凸凹のある天井

平面部がφ1200mm
未満の天井

傾斜した場所

ケースウエイに
取付いているもの

取付強度不足の天井

補強のない場所
(ベニヤ板や石膏ボードなど)

船底天井

サオブチ・格子天井

！
厳守

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

禁止

器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。



ストーブ

禁止

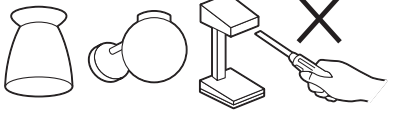
周囲温度5〜35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

禁止

器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。

分解禁止

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。



！
厳守

電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。

！
厳守

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。



ご相談
ください

電
器
店

注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

！
厳守

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

！
厳守

右図のような取付け高さの場合は、電気設備の技術基準にしたがってアース工事を行ってください。アース工事を行わないと、感電の原因となります。アース工事は、工事店、電気店に依頼してください。



1.8m以下

床面より1.8m以下

！
注意

照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8〜10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。点検は、本説明書に従ってお願いします。(3〜5年に1度は有資格者の点検をおすすめします。)

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F
TEL：(06)6222-6240(代表)

C5-35735L-A 1

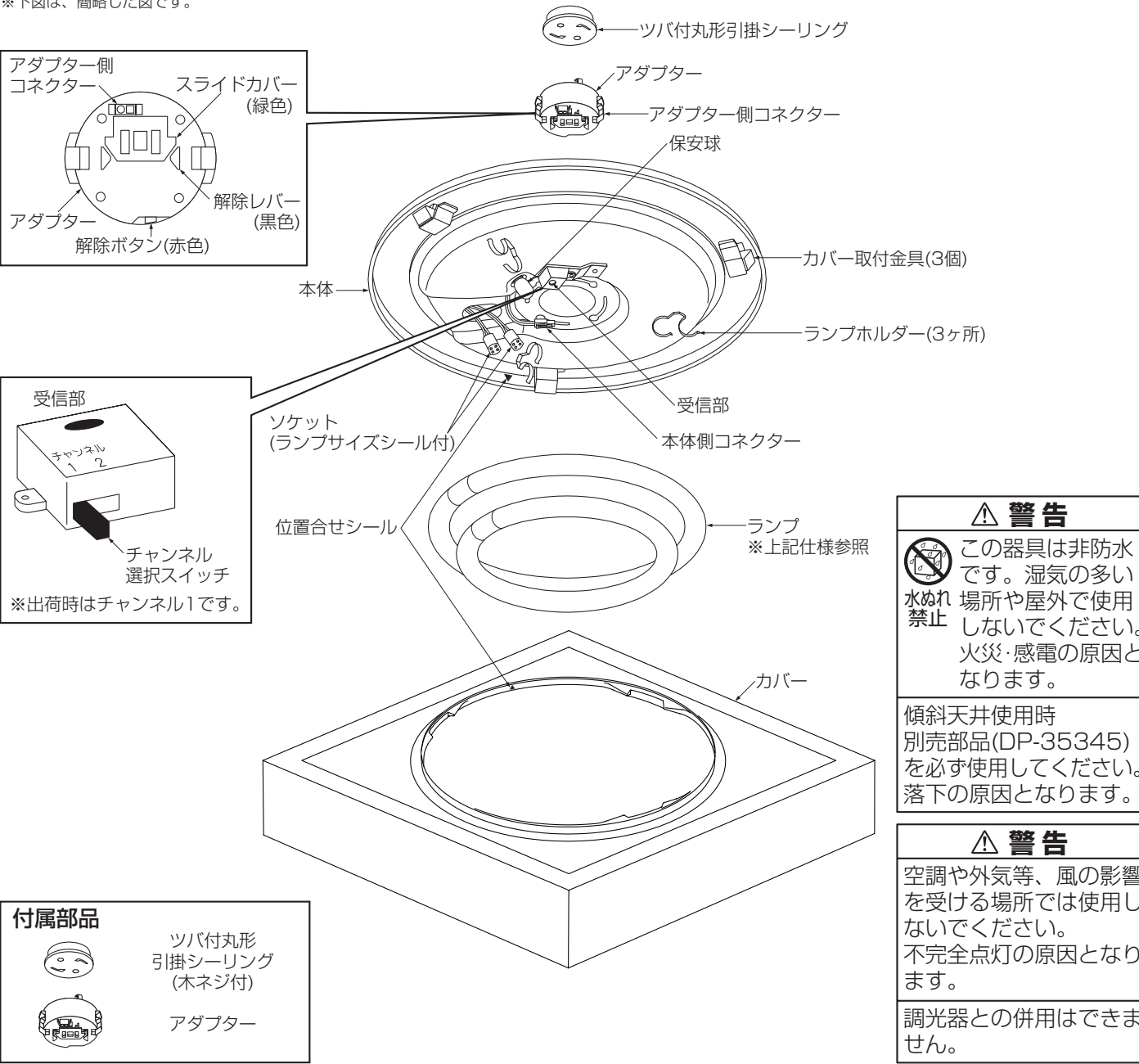
仕様

- 屋内天井取付専用器具です。
- 器具には和紙を使用しております。取扱いは丁寧に
行ってください。
- インバータ(50Hz/60Hz兼用)器具です。
- 別売のタイマー付リモコン(DP-34223)・タイマー
付液晶リモコン(DP-35354)使用可能です。

品番	DCL-35735L		DCL-35735N	
定格電圧	交流 100V			
周波数	50/60Hz兼用			
消費電力	68W ※待機時 1W以下を要します。			
入力電流	0.69A			
適合ランプ	FHC丸形蛍光灯 電球色 FHC34EL×1灯＋FHC20EL×1灯 GZ10q		FHC丸形蛍光灯 昼白色 FHC34EN×1灯＋FHC20EN×1灯 GZ10q	
適合保安球	ナツメ球 5W E12			
器具重量	約3.5kg			
電源接続	引掛シーリング			

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



⚠ 警告

この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

傾斜天井使用時別売部品(DP-35345)を必ず使用してください。落下の原因となります。

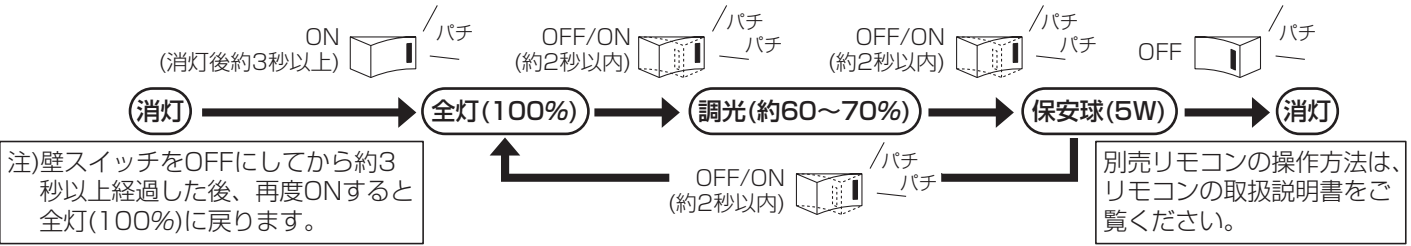
⚠ 警告

空調や外気等、風の影響を受ける場所では使用しないでください。不完全点灯の原因となります。

調光器との併用はできません。

ご使用方法

- 点灯の切り替えは、壁スイッチで操作してください。下図の順に切り替わります。



ランプ交換方法

⚠ 警告

必ず電源を切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電・やけどの原因となります。

●ランプが黒化したり、ちらつきだしたら寿命です。すみやかに下記の手順で交換してください。

1.カバーを取外す → **2.ランプを交換する** → **3.カバーを取付ける**

●ランプは小さい方から順にセットしてください。

●ソケットを適合ランプに最後まで確実に差し込んでください。

①カバーをまわす

②カバーをはずす

つける

はずす

ランプホルダー

ランプサイズシール

つける

はずす

ランプソケット

ランプ

ランプロ金

注)ランプソケットとランプは組み合わせが決まっています。必ずランプサイズシールを確認のうえ、確実に差し込んでください。

注)ランプホルダーでランプを弾かないようご注意ください。

⚠ 警告

ランプは必ず器具表示または本説明書のものを使用してください。表示以外のランプを使用すると火災の原因となります。

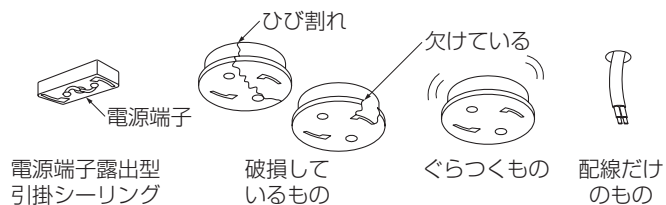
ランプの取付けが不完全な場合、落下・不点・接触不良の原因となります。

ご使用上のご注意

- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- インバータ器具の近くで、室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
- 調光比は約60～70%ですが、室温、器具によって多少変化します。また調光状態になるまで数秒かかることがあります。
- 室温が極端に低い場合、段階調光状態では点灯しないことがあります。100%点灯でご使用ください。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチをONの状態の方が一停電がおこった場合、電源復帰後は自動的に100%点灯(全灯)状態になります。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- ランプの取扱いは、交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
- 冬等の周囲温度が低い場合、明るくなるまでに時間が掛かったり、ちらつきが発生することがありますが、異常ではありません。
- 天井の材質や構造によっては天井面が変色することがあります。

1 配線器具を確認する

●使用できないもの



●使用できるもの



⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取付けないでください。火災・感電・落下の原因となります。配線器具の交換・取付けは資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

⚠ 警告

配線器具は十分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災・感電・落下の原因となります。

2 (別売リモコン使用時)受信部のチャンネル選択スイッチを確認する

●別売のタイマー付リモコン(DP-34223)・タイマー付液晶リモコン(DP-35354)が使用可能です。

●照明器具2台を別々にリモコン操作したい場合は、右表のようにスイッチを合わせてください。

選択 スイッチ	器具台数 1台
受信部側	1ch
送信部側	1ch

選択 スイッチ	器具台数 1台目	2台目
受信部側	1ch	2ch
送信部側	1ch	2ch

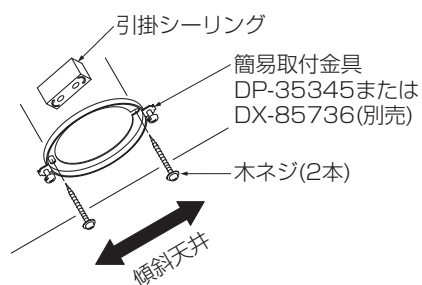
※受信部と送信部のチャンネルが違っていると、リモコン操作はできません。(出荷時、照明器具及びリモコンのチャンネルは1です。)

※リモコンの詳細は別紙「取扱説明書」をご覧ください。

3 傾斜天井(水平から45°)に取付ける場合

●必ず別売の簡易取付金具DP-35345または、DX-85736を使用してください。

●取付用木ネジおよび簡易取付金具DP-35345またはDX-85736(別売)の耳を傾斜天井に対して縦方向にして、引掛シーリングが中央に入るように、簡易取付金具を木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付けてください。



●器具本体の矢印シールが傾斜方向の下側にくるように取付けてください。

●取付け出来る傾斜天井の角度は水平面から45°です。

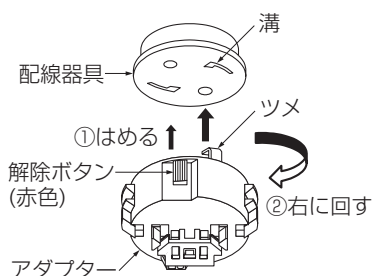


⚠ 警告

この器具は単体での傾斜天井への取付けはできません。傾斜天井(水平から45°)へ取付けの際は、上記条件をおまもりください。指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。

4 アダプターを取付ける

●アダプター(ツメ)を配線器具(溝)に合わせ、音がするまで右に回してください。



⚠ 警告

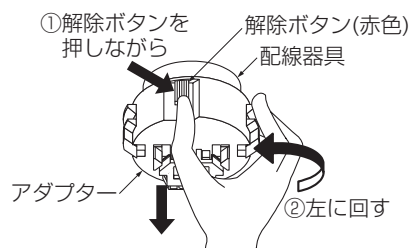


厳守

取付後、解除ボタン(赤色)を押さずに左に回し、外れないことを確認する。取付けが不十分な場合、安全機能がはたらないで、本体が取付けられません。

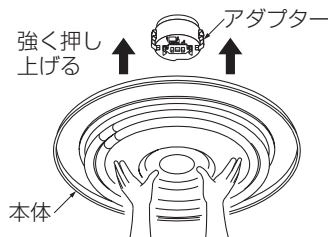
<アダプターの取外し>

●アダプターの解除ボタン(赤色)を押さえながら、左に回してください。



5) 本体を取付ける (器具本体の表示も必ず確認のうえ、作業してください。)

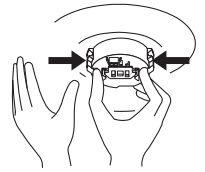
- 下記の配線器具(高さ)の種類により取付けが異なります。下記内容に従い取付けを行ってください。
- 本体(センター穴)をアダプターに合わせて、天井に密着するまで確実に押し上げて固定してください。



注) 取付けの際、ランプを持ったり押さないでください。

<本体の取外し>

- 本体センター穴付近を片手で支えながら、解除レバー(黒色)をつまんでください。



⚠ 警告

本体を支えないで外すと、本体が落下する原因となります。

⚠ 警告

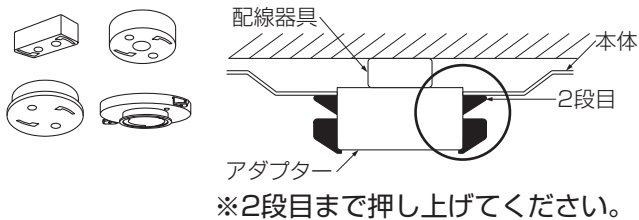
本体が次のような場合は、再度本体を押し上げてください。そのまま使用すると落下の原因となります。

- ガタガタする。
- 簡単に回転する。



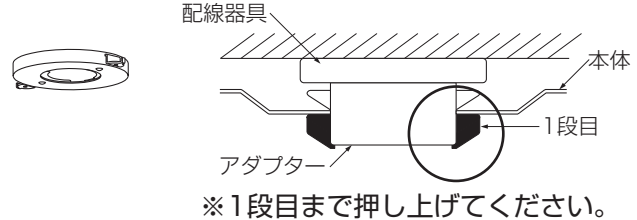
厳守

※ 下記配線器具(高さ約22mm)の場合



※ 2段目まで押し上げてください。

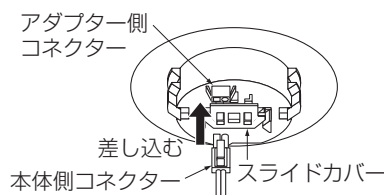
※ 下記配線器具(高さ約11mm)の場合



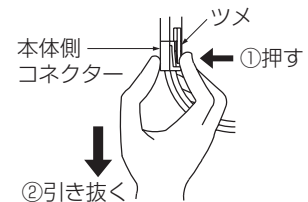
※ 1段目まで押し上げてください。

6) 電源を接続する

- 本体側のコネクターをアダプターに最後まで差し込み、確実に接続してください。(コネクターには方向性がある為、方向を合わせて接続してください。)



<コネクターの取外し>



- 本体側コネクターのツメを押さながら引き抜いてください。

⚠ 警告

接続が不完全な場合は、接続不良による火災の原因となります。

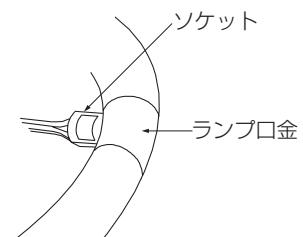
注) アダプター側コネクターがスライドカバー(緑色)にかくれて、コネクターが接続できない場合は、本体の押し上げが不十分です。再度本体を押し上げてください。

7) ランプを確認する

- ソケットにランプの口金が確実に接続しているかを確認してください。(ランプをさわる際、ランプ口金は無理に回さないでください。)
- 保安球がゆるんでいないかを確認してください。

⚠ 警告

ランプの取付けが不完全な場合、不点・接触不良の原因となります。



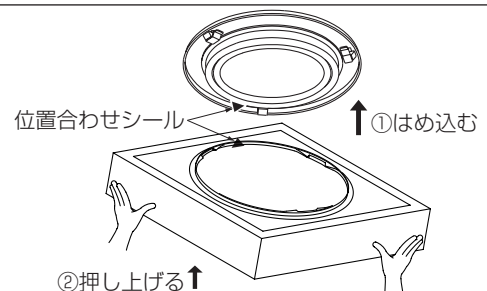
8) カバーを取付ける

注) 破損したカバーは、使用しないでください。落下の原因となります。

- 本体とカバーの位置合わせシールを合わせて、はめ込んでください。
- 音がするまで上に押し上げてください。カバーが確実に取付いていることを確認してください。

⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

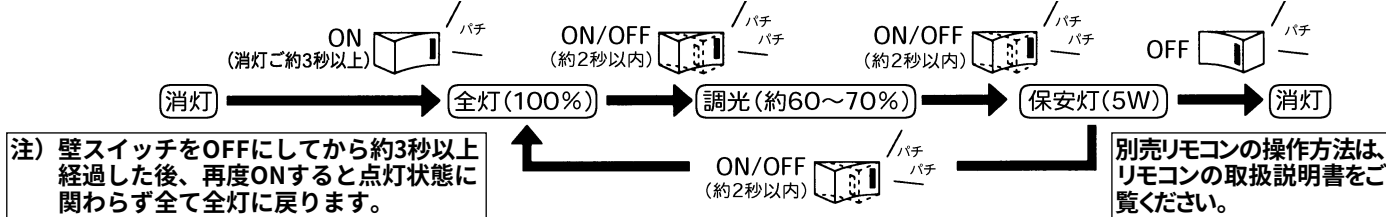


9) 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。

ご使用方法

点灯の切り替えは、壁スイッチまたは別売のリモコンで操作してください。壁スイッチは下図の順に切り替わります。



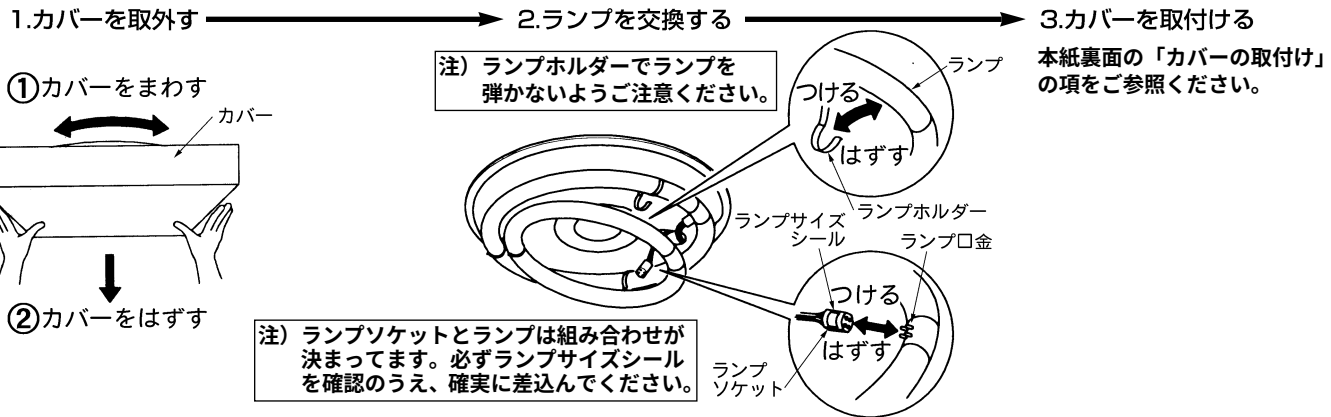
使用上のご注意

- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因になります。
- インバータ器具の近くで、ラジオ（AM）を使用しないでください。雑音の原因になります。
- 調光比は約60～70%ですが、室温、器具によって多少変化します。
- 調光状態になるまで、数秒かかることがあります。
- 室温が極端に低いと、段階調光状態では点灯しないことがあります。室温が低い場合は、100%点灯でご使用ください。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因になります。
- 点灯時、消灯後には、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチをONの状態で万が一停電がおこった場合、電源復帰後は自動的に100%点灯（全灯）状態になります。

ランプ交換方法

注意 ランプ交換の際は、必ず電源を切って下さい。通電状態で行うと感電の原因となります。点灯中や消灯後20分以内のランプや器具にさわらないでください。高温状態で行うとやけどの原因となります。

- ランプが黒化したり、チラツキしたら寿命です。下記の手順で新しい適合ランプに交換してください。



点検とお手入れ方法

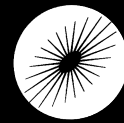
- ① 6カ月に1回程度、清掃および点検を行うことをおすすめします。点検は、次の項目にもとづいて行ってください。

- (1) 点検事項
- 正常に点灯しますか。
 - スイッチは、正常に切替りますか。
 - 天井との取付け部、各部品の合わせ目に異常なガタつき、ゆるみはありませんか。
 - 可動部は異常なく動作しますか。
 - 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
 - ガラス、プラスチック部品等に、ヒビ、割れ、変形等が発生していませんか。
- ※不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社もよりの支店にご相談ください。

(2) 清掃	
器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりでなく、器具自体の寿命を短くします。	
清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	30℃～40℃の薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。（但し、金属部は除く）
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

- ② 異常時の処置
- 定期点検により発見された不具合のうち、消耗部品（ランプ、電池等）、交換部品（パネル、パッキン等）は、速やかに販売店、工事店にご相談のうえ、適合品と交換してください。また、安定器、配線部品等は、定格電圧、常温、1日当たり10時間使用を想定した場合、約8～10年が交換の目安です。新規の器具と交換するか、または当社もよりの支店にご相談ください。



DAIKO
大光電機株式会社

取扱説明書

保存用

お客様へ

- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。

工事店様へ

- 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

警告

誤って使用しますと、事故により使用者が重傷を負う危険があります。

注意

誤って使用しますと、使用者が傷害を受けたり、物的損害の発生が想定されます。

警告

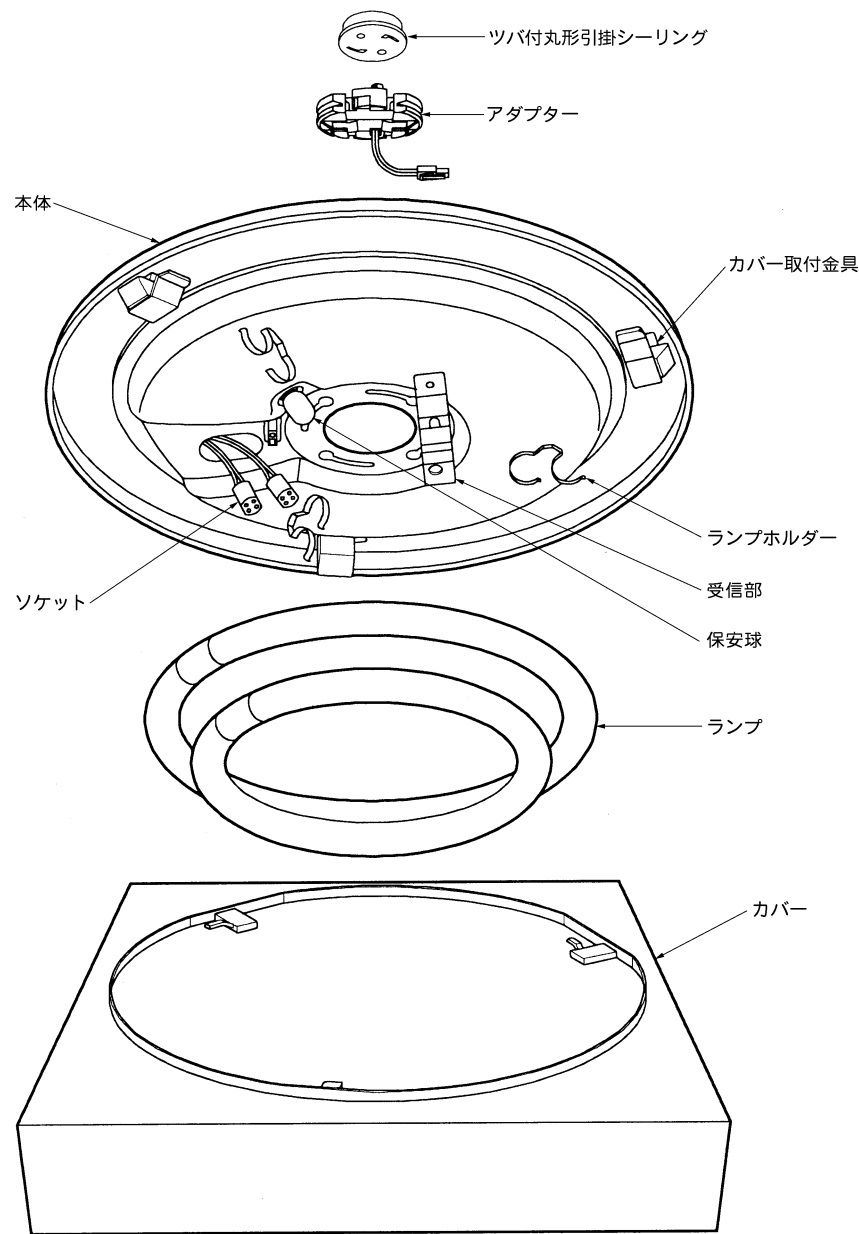
- こんな場所には取付けしないでください。この器具は屋内天井直付器具です。指定以外に取付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。器具の真下にストーブ・ガス機器などをおかないでください。火災の原因となります。
- 空調や外気等、風の影響を受ける場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造したり、部品変更をしないでください。落下・感電・火災等の原因となります。
- 異常を感じた場合速やかに電源を切ってください。落下・感電・火災の原因となります。工事店・お買い上げの販売店、または当社もよりの支店にご相談ください。
- 交流100ボルト以外では使用しないでください。過電圧を加えると加熱し、火災・感電の原因となります。

注意

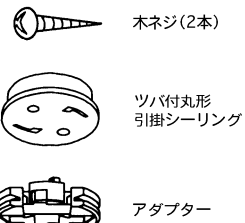
- 電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。落下・感電・火災等の原因となります。
- 点灯中や消灯後20分以内のランプや器具にさわらないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
- こんな場合は、電気設備の技術基準にしたがって接地工事を行ってください。工事店、電器店に依頼してください。
- 浴室などの水や湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。この器具は非防水です。火災・感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があり、照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態においては、約8～10年です。外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。器具本体表示または本説明書に従って、6ヶ月に1回定期的に保守・点検を行ってください。また、3～5年に1回は有資格者に点検を依頼してください。点検を行わずに長時間使用しますと、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。一般的な使用条件に比べて周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。※使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C8105-1解説による。）

各部の名称

※下図は一部抽象・簡略化した共通図です。
品番によりカバー形状が異なります。

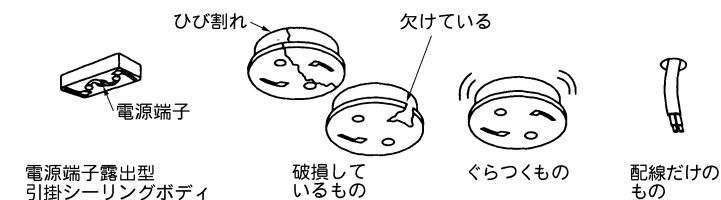


付属部品



1.配線部品の確認

●使用できないもの



火災・感電・落下によるけがの原因となります。
配線部品の交換が必要です。配線部品の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

●使用できるもの



配線部品は十分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。
火災・感電・落下によるけがの原因となります。

2.(別売リモコン使用時)受信部のチャンネル選択スイッチの確認

別売のタイマー付きリモコン (DP-34223) ・タイマー付き液晶リモコン (DP-35354) が使用できます。

使用に際しては、使用台数により右表のように選択スイッチを合わせてください。

※リモコンの詳細は、リモコン送信機に付属の取扱説明書をご覧ください。
※器具出荷時は、受信部・送信部ともにチャンネル「1」になっています。

選択スイッチ \ 器具台数	1台
受信部側	1ch
送信部側	1ch

選択スイッチ \ 器具台数	1台	2台
受信部側	1ch	2ch
送信部側	1ch	2ch

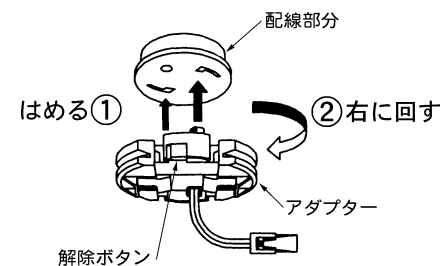
3.アダプターの取付け

アダプターを配線部品に確実に接続してください。

注) 取付けが不十分ですと火災の原因になります。

●アダプターの取外し

アダプターの解除ボタンを最後まで押さえ込み、左に回して取り外してください。

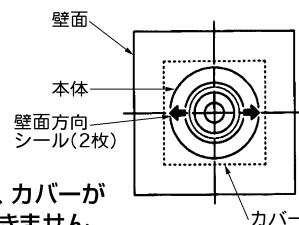


4.本体の取付け

本体取付け時の注意

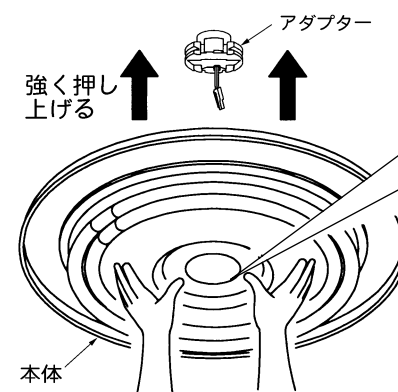
本体の壁面方向シール(2枚)が、壁面に対して平行または垂直方向に向くようにしてください。

注) 方向が合っていない場合、カバーが壁面に対して平行に取付きません。

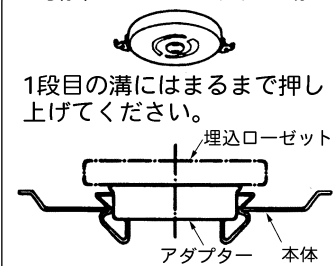


本体をアダプターに合せて、天井に密着するまで押し上げてください

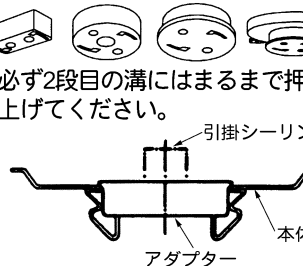
注) 取付けの際ランプを持たないでください。



※引掛埋込ローゼットの場合



※その他の配線部品の場合



赤▲マークが完全にみえていない場合
本体を再度押し上げる。



警告 取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

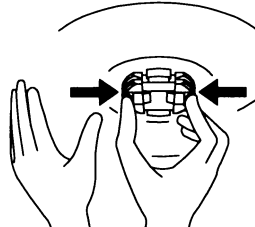
解除レバー

●本体の取外し

本体センター穴付近を片手で押上げながら、解除レバーを中央側につまんでください。



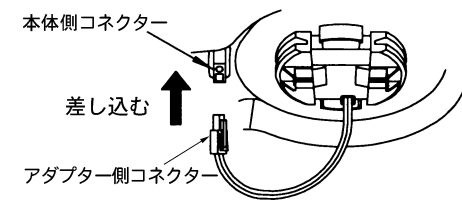
警告 指定以外の取外しは、落下によるけがの原因となります。



5.電源の接続

コネクターを確実に差し込んでください。

注) 取付けが不十分ですと点灯しません。
必ず点灯の確認を行ってください。

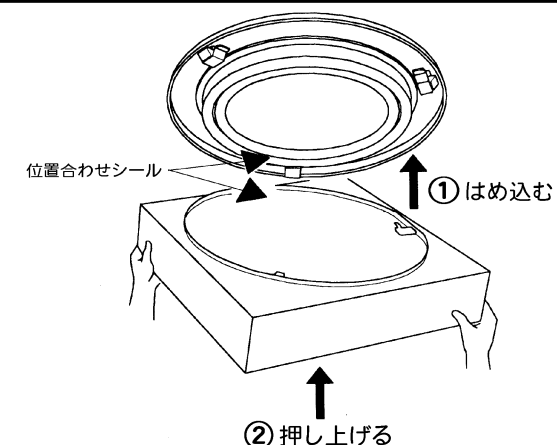


6.カバーの取付け

注) 破損したカバーは、使用しないでください。
落下によるけがの原因となります。

- ① 本体とカバーの位置を合せてはめ込んでください。
- ② 音がするまで上に押し上げてください。
カバーが確実に取付いていることを確認してください。

注) 取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



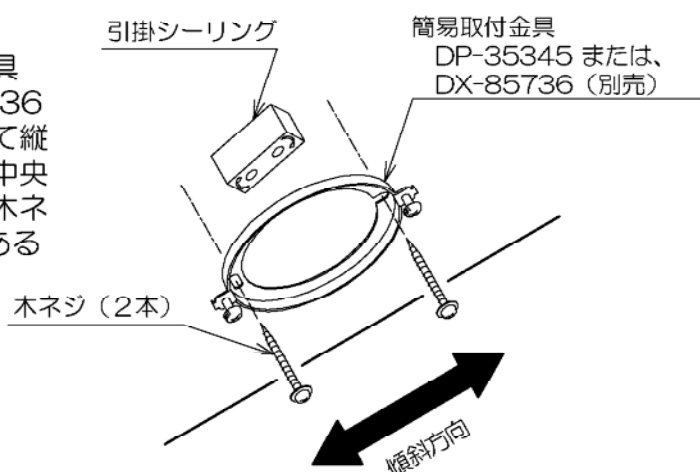
傾斜天井への取付けについて

警告

この器具は単体での傾斜天井への取付けはできません。
傾斜天井（45° まで）へ取付けの際は、下記の条件をおまもりください。
指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。

- 必ず別売の簡易取付金具 DP-35345または、DX-85736を使用してください。

- 取付用木ネジおよび簡易取付金具 DP-35345 または、DX-85736（別売）の耳を傾斜天井に対して縦方向にして、引掛シーリングが中央に入るように、簡易取付金具を木ネジ（2本）で天井面の補強材のある位置に取付けてください。



- 器具本体の矢印シールが傾斜方向の下側にくるように取付けてください。
- 取付けられる傾斜天井の角度は水平面から45° までです。

